ことばの教室だより

あきる野市立前田小学校
こ と ば の 教 室
TEL 042(532)3681(直通)
令和８年１１月１７日

市内の小学校では、運動会や音楽発表会、学習発表会、作品展覧会など、さまざまな行事が行われました。大勢の前で発表したり、友達と力を合わせて作品を作り上げたりする中で、うれしかったことや、難しいと感じたこともあったことでしょう。すぐにできたことだけでなく、勇気を出して挑戦したこと、何度も練習を重ねたこと、一生懸命に取り組んだこと。その一つ一つが、子どもたちの大切な成長です。ことばの教室でも、子どもたちの話に耳を傾けながら、それぞれの頑張りや成長を一緒に見つけていきたいと思います。



第2回 吃音グループ学習の様子

ことばの教室では、学期に１回程度、吃音のある通級児が集まって、グループ学習を行っています。２学期の吃音グループ学習は１１月１１日に実施し、２年生から６年生までの８名が集まりました。

好き？きらい？

「和食」「日直」などのお題について、好きの度合いを 10 段階で表したスケールバーの中から、自分の気持ちに合う位置を選びました。友達と比べてみると、同じことでも好きの度合いが違うことに気付き、「なるほど！」と友達の考えに興味をもったり、新たな発見をしたりする様子が見られました。



協力ゲーム

「動物を 10 こ書こう」「スペシャルパフェに入れたいものを書こう」というお題に、2～3 人のグループで取り組みました。何を書くかをお互いに考えを出し合い、友達の意見を聞きながら相談して決めることができました。自分の考えを伝えるだけでなく、相手の考えにも耳を傾けながら、楽しく協力する姿が見られました。



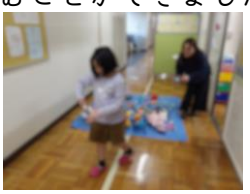
吃音かるた取り

吃音についての自分の考えを読み札にした「吃音かるた」で、かるた取りをしました。自分の考えに近い札を見つけ、同じグループの友達と見せ合う中で、それぞれの思いや考えに触れることができました。同じような思いに共感したり、友達の考えを聞いて新たな気付きを得たりする、温かい交流の時間となりました。



おたま DE 宝運びリレー

「秋のもの」などのお題を見て、たくさんの宝の中から条件に合うものを探し、お玉にのせて運ぶリレーをしました。お家の方も一緒に参加し、楽しくリレーに取り組むことができました。



次回は、
３月３日（水）に
開催予定です！

理解授業を実施しました！



９月１４日（月）、前田小学校の全校児童を対象に、ことばの教室についての理解授業を行いました。ことばの教室ではどのような学習をしているのか、どのような目的で通っているのかを知り、ことばの教室への理解を深める機会となりました。

また、吃音についても、クイズなどを交えながら学びました。吃音のある友達との関わり方や、みんなにできる心遣いについて考えることができました。一人一人が相手の気持ちを考え、誰もが安心して自分らしく話せる学校につながっていくことを願っています。

随時相談のご案内

今年度のことばの教室の随時相談は１２月９日（水）が最終となります。ご相談をご希望される場合は、早めに前田小学校ことばの教室へご連絡ください。

読書の秋、本から広がる「ことばの世界」

秋といえば、読書の秋。絵本や物語を楽しむ時間は、子供たちのことばの世界を広げる機会にもなります。

本の中には、ことばの発見がいっぱい

本には、日常の会話ではなかなか出会わないことばや、豊かな表現がたくさん登場します。「こんな言い方があるんだ！」という新しい発見が、知っていることばを増やし、自分の思いを表現する力につながっていきます。

物語の世界で、想像する力が育つ

「登場人物は、どうしてこんなことをしたのかな？」「この後、どうなるのかな？」と、物語を楽しみながら、登場人物の気持ちや出来事のつながりを想像することは、ことばを理解する大切な経験です。

読み聞かせは、ことばを楽しむ時間

読み聞かせは、必ずしも上手に読もうとする必要はありません。子供と一緒に絵を眺めたり、好きな場面で笑い合ったり、感じたことを話したりすることも、読み聞かせの楽しみ方の一つです。同じ本を繰り返し楽しむことも、子供の興味や関心を深めるきっかけになります。こうした何気ないやり取りが、子供たちのことばを育む豊かな時間につながります。

本を通して新しいことばに出会い、感じたことを誰かと共有する。そんな一つ一つの経験が、子供たちのことばの世界を広げていきます。何気なく手に取った一冊が、心に残る本になることもあるかもしれません。秋のひととき、本を開いて、ほっと心が和む時間を過ごすのもすてきですね。

参考：文部科学省『子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画』（令和５年３月）
「読み聞かせ」についての記述を参考にしました。